



第7回パソコン入力スピード認定試験 練習問題 (25.2.9)
【日本語部門】

現在のビジネス活動においては、英語力が求められている。	30
に、2010年以降、アパレルメーカーやインターネットサービス	60
企業で、公用語を英語にしている。会社によっては昇格の条件の一	90
つに、英語のコミュニケーション能力の試験結果を導入している。	120
その背景を考えると、海外での存在を高めるには、その国の優	150
れた人材の採用が必要である。そして、海外の若者たちにすれば、	180
公用語が英語の会社の方が魅力的だと判断できる。	204
そして、今後の世界経済では、経済発展が著しいBRICSと呼	234
ばれる各国が注目されている。この国における競争力を上げるため	264
には、現地の優秀な人材の採用が必要だ。その人材を有効に活用す	294
るためには、本社でも、採用した人たちを受け入れる体制を整える	324
ことが必要である。	334
一方、英語公用語化に否定的な意見もある。英語が公用語の環境	364
では、仕事ができる能力よりも、語学の力によって評価される心配	394
がある。また、日本人だけの会議で、英語でコミュニケーションを	424
することは非効率である。思考能力のレベルが、下がることは想像	454
に難くない。人材のグローバル化と英語の公用語とは、イコールで	484
はないことを認識すべきだ。	498
また、英語の公用語化が導入された会社のアンケートでは、自分	528
の英語力が、低いと感じている社員が50%を超えた。社員の多く	558
は、必要性を認めてはいるが、実際の英語力にはギャップを感じて	588
いる。社員の不安を減らすためにも、会社が研修などをして援助す	618
ることが必要である。	629
英語を公用語とすることのメリットは、会話が英語になるだけで	659
はない。一番のポイントは、世界を意識した見方や考え方を持てる	689
ことである。国際的に仕事ができるだけでなく、自然とグローバル	719
な視野を持つことが可能となる。実際に、韓国や台湾などの企業で	749
は、積極的に社員をMBA（経営管理学修士）に送り、海外からも	779
優秀な人材を採用している。日本の企業も、世界の中で勝ち残って	809
いくためには英語力は必須である。	825

練習問題

